

令和4年度 第2回相生小学校運営協議会 会議録（要点記録）

（敬称省略）

- 1 開催日時 令和4年6月15日（水） 13時50分から15時45分まで
- 2 開催場所 相生小学校 多目的室
- 3 出席委員 小杉思主世、長澤秀幸、水谷 加寿代、原 隆之、森田 賢児  
鈴木 麻衣子（学校支援コーディネーター兼務）
- 4 欠席委員 廣野 篤男、大谷一雄
- 5 学校関係 鈴木 晶子（校長）、鈴木 滋雄（教頭）、横山 勝之（主幹教諭）  
伊藤 龍彦（CSディレクター）
- 6 傍聴者 0人
- 7 教育委員会 鈴木 陽子指導主事
- 8 会議録作成者 伊藤 龍彦

【会議開会】

司会：横山主幹教諭

司会の横山主幹から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

9 協議事項

司会：横山主幹教諭

- （1）本校のキャリア教育について
- （2）支援策の具体化

10 会議記録

**会長挨拶**

今日は、午前中の雨でどうなるかと思ったが、天気も回復して良かった。私も役を引き受けてから、ピント外れな議論になっていないか、心配したが、先生たちに導いていただきながら、皆さまとともに楽しく過ごせて行けたらと思っている。

**議長選出について**

司会から、議長の選出について会長に意見を求めたところ、順番で議長を担当する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。第2回目は、鈴木麻衣子委員が議長を務めることになった。

【熟議】

（1）相生小学校のキャリア教育について（校長説明）

議長の指示により、校長から、会議資料に基づき相生小学校のキャリア教育について説明があった。

（2）支援策の具体化

- ・運営会議メンバーの連絡をスピーディーにするため、LINE グループを作って連絡しあうようにしたい。（鈴木議長）
- ・学校への支援活動は、保護者や地域の方の協力のもと、キャリア教育推進のために、協力をしていけたら、いいのかなと思っている。最初だから、どんなことをすればいいのか他の学校の

実例を調べてきた。気賀小学校では1年目にボランティアや応援団の組織化を取り組み、要望・課題等を抽出した。2年目は、その課題解決をしていった。3年目にさらに実りのあるものにしていくというような取り組みをしていた。菖丘小学校でも父親の応援団を組織して、取り組みしているようだ。相生小学校では本校の実情に沿った独自の支援活動と地域の皆様との連携を進めながら、活動に繋げていきたい。

支援策の具体化を考えていく上での材料として、今日は、6年生の総合的な学習の時間の参観をした。(鈴木議長)

- ・子供たちのICT活用の授業を見学して、まさにデジタルネイティブだと思った。考える力と目標をもち学ぶ姿は、子供の将来に大きく関わってくる。デジタルのいいところもあるが、実体験を通して、子供たちの未来の選択肢は増えていくのではないかと思った。  
いろんな事例を通して、もちろん実体験も含め、選択肢を広げるキャリアプランは良いと思った。ICTでできないものに子供がどのように関わられるのか、データ情報でない生の情報による知識取得も重要である。支援活動は具体的な要請があれば協力体制の構築はできるのではないか。子供たちの将来の選択肢を広げていけるような支援が必要である。(長澤委員)
- ・学校単位ではなく、学年単位での支援が必要である。(鈴木校長)
- ・子供たちが、元気に手を挙げて質問をしていた。言葉の掛け合いが大切だと感じた授業だった。便利なICTだけではなく、顔を突き合わせた言葉のコミュニケーションが重要だと思った。(水谷委員)
- ・ICTの活用で、いろいろなことが、調べることができ、すごいと思う反面、怖いと思うところもある。アナログ時代の私には、ついていけないが、みんなで平等に活用できるデータベースはすごいと思った。デジタル化された授業が進み過ぎてよく分からない面もある。(原委員)
- ・ICTは利便性と危険性を併せもつ。地域の人材を活かしつつ、学校支援に役立つ方法にはどんなものがあるのか。相生小としては、どうしたらいいと考えるか。(鈴木議長)
- ・ICTは、あくまでツール。しかし教育は普遍的なもの。タブレットもいいが、読書を進めていきたい。見識的な幅がないから、歴史を学んで賢人の生き方を学んでほしい。幅のある学びを得ることが大切である。好きなものを見つけての職場体験も有意義である。機会を通して、その子供の好きなものを探して行ってほしい。そのためにも、地域の人材を広く活用していく必要がある。(森田委員)
- ・家族構成で、自宅で教わる内容が変わる。地域の高齢者等との触れ合いが必要である。(鈴木議長)
- ・地域にとっても相互世代間学習・交流の新しい場所となる。(森田委員)
- ・デジタル化でタブレットも40台から1人1台へと採用が進んだ。ツールとしてのタブレットを利用している。本校のキャリア教育につながる生の体験や実体験ができていると肌で感じている。本日の6年の総合のほかにも、各学年で年間計画を作って取り組もうとしている。人と繋がるためにICTを活用することだけでなく、タブレット同士ではお互いの意思疎通が図れない場合もあるので、実際に言葉を使って交わることも大切となってくる。(校長)

横山主幹よりキャリア教育年間指導計画の説明があった。

- ・相生小学校の具体的なスケジュールを決めてほしい。気賀や萩丘の事例も参考に。次回の会議までに、ひとくくりのスケジュールをまとめていきたい。地域の手の届く範囲で子供たちの話を聞きたい人の一言アンケートも良いかもしれない。 (小杉会長)
- ・会合もあと2回ですので、私の方で、先生方と話し合い、内容を決めていきたい。親睦を図りながら意見の出易い関係づくりをしていきたいと思います。 (鈴木議長)
- ・鈴木議長に任せていきたい。 (原委員)
- ・学校に関わっていないとコミュニティスクールの話もよく理解できない。 (鈴木議長)
- ・子供たちは、興味のない人の話は聞かない。子供たちからよく意見を聞いたうえで、人の話を聞かせたい。 (原議員)
- ・運営協議会のメンバーみんなでやろうとすることが大切である。 (小杉会長)

#### その他報告事項等

横山主幹教諭より下記の報告がされた。

- ・学校評価実施計画の説明
- ・さくら連絡網の登録について

次回会議は、令和4年10月18日(火曜日)に多目的室で開催する旨の報告があった。